

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	自転車通行環境整備事業				シート番号	019-091
担当部署名	建設	局	自転車まちづくり	部	自転車環境整備	課 評価責任者(課長名) 高田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革	有
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法、道路交通法			
	4	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km			
5	事業実施の経緯	環境モデル都市として、低炭素型都市構造への変革を図る「モビリティ・イノベーション」の一環として、市民の移動に伴う温室効果ガスの排出などの環境負荷を低減するため、自転車が利用しやすい都市環境づくりを進める。新型コロナウイルス感染防止に向けた、新しい生活様式の移動ツールとして自転車利用は有効かつ重要であり、利用者増加に伴い自転車関連事故を防止するため自転車通行環境の整備を推進する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 (()) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 (())				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民(歩行者・自転車利用者・自動車利用者)				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	自転車を活用し環境にやさしいまちづくりを推進する。安全に通行できる自転車通行環境を形成する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	環境負荷の少ない都市交通の重要な手段である自転車の通行空間の連続性を確保したネットワークを形成することで、自転車による回遊性や快適性を高める。 また、歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全にも配慮した自転車通行空間を確保する。 堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50kmに基づき、さらなる自転車道や自転車レーンの整備を行う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (()) 請負業者					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	227,283	158,309	253,641	200,549	218,127	176,143	207,343
	主な事業費内訳								
	自転車通行環境整備工事費	千円	200,300	139,421	232,243	184,352	187,200	151,556	177,846
	委託業務費(実施設計業務他)	千円	23,440	14,848	17,800	13,354	27,413	21,775	28,082
	その他(印刷製本費他)	千円	3,543	4,040	3,598	2,843	3,514	2,812	1,415
	財源内訳								
	国・府支出金	千円	110,165	45,595	116,662	69,061	102,960	73,920	77,707
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	110,165	98,000	115,100	109,300	100,000	92,200	114,400
	その他()	千円							
	一般財源	千円	15,518	14,714	21,879	22,188	15,167	10,023	15,236
12	人件費 (b)	千円	52,600	52,600	54,400	52,700	52,200	53,900	61,000
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	279,883	210,909	308,041	253,249	270,327	230,043	268,343

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自転車通行環境整備事業	シート番号	019-091
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度 自転車通行環境整備延長 L=9,365m (内訳) 鳳西上1号線 L=130m 築港南島線 L=1,700m 府道大阪和泉南線 L=800m 府道堺阪南線 L=2,815m 府道堺泉北環状線 L=3,450m 三原台2号線 L=470m						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	自転車通行環境整備延長	m	目標値	6,000	6,000	8,000	7,000
				実績値	7,520	8,100	9,360	
				達成率	133%	133%	117%	
				評価	大変良い	大変良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		令和元年度実績					
	16							

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	自転車通行環境整備延長	m	7,520	8,100	9,360
	②	上記①にかかる年間経費	千円	210,909	253,249	230,043
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	28,046	31,265	24,577
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
	庁内関係部局、交通管理者の協力の基、「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km」(平成27年度から令和4年度までに自転車通行環境を約50km整備する計画)により年次及び計画的に整備を実施し、自転車レーンの延長は順調に伸びている。 整備後のアンケート調査結果では、自転車利用者から「安全が高まった、走りやすい」といった肯定的意見も多くあるが、安心して走れない理由として「自動車と自転車の共有は反対」「幅が狭い、接触の危険」「駐車車両」との意見も多い。また、自動車利用者からは「車道を自転車と共有することに反対」「自転車のルール・マナーが守られていないので危険」「逆走が危険」との意見が多かった。 今後は、整備手法の改善と自転車、自動車利用者への交通安全ルール・マナー啓発を実施していく。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	自転車通行環境整備事業	シート番号	019-091
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 これまで「自転車のまち・堺」として「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km」の整備計画を策定し、年次的、計画的に事業を実施してきたことと、新型コロナウイルス感染症防止のため、これまでの移手段であった公共交通機関から自転車利用にシフトする市民の増加が見込まれるため国が堺市内の国道を対象に自転車通行環境整備計画を策定することとなり、効果的な事業となるよう国への協力が求められているため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 国の施策として本市内の国道において国が自転車通行環境整備計画を策定するにあたり、効果的な事業となるよう本市の協力が求められているため。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 R3年度予定していた整備の内、高松西野3号線0.57km、出島海岸通西湊線0.68km、泉北環状線4.57kmの整備を次年度以降に先送りし、R3年度の事業規模を縮小する。 車道混在の矢羽根型自転車レーン標示のサイズを縮小、設置間隔を広げる。ピクトグラムのサイズを縮小、設置箇所を減少させる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 通勤通学路線等の整備を優先。社会情勢に応じた整備が必要。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ③舗装復旧等の工事の際に、自転車レーンを同時に整備。 ④国道の自転車レーン整備に合わせ、打合わせを行い、より効果的なものとなるよう国道に接続する市道の整備。 ⑤近隣政令市との連絡を密にし、施策に関する情報交換を実施。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 新しい生活様式としての自転車利用の増加への対応が必要。 国においても市と共に直轄国道を中心に自転車レーンの整備計画を策定し概ね3年間で整備する予定をしており、効果的な整備となるよう市の対応が求められる。 令和3、4年度は財政上の問題から事業を先送りしているが、財政問題が解消された後は、事業ペースを戻していく予定である。		